



特定医療法人 樟風会
早津江病院

樟の青葉



Contents

- ◆ 早津江病院理念・基本方針
- ◆ 樟風会熱気球クラブより
- ◆ 餅つき
- ◆ 第 15 回 早津江病院学会
- ◆ 院長挨拶
- ◆ 令和元年度 樟風祭
- ◆ いのちの電話への募金寄付

Address

佐賀県佐賀市川副町福富 827
TEL 0952-45-1331 FAX 0952-45-7334
E-Mail : hayatsue@shoufuukai.or.jp
URL <http://shoufuukai.or.jp/hayatsue-hp/>

早津江病院理念

博愛の心を持ち、躍動感に溢れた医療を実施する為に、ここ（早津江病院）に集い、われらの英知を傾けよう。

は：博愛　　こころ　精神

や：躍動　　活気ある病院　前向きな姿勢

つ：集い　　チーム医療

え：英知　　創造　判断力

基本方針

＊開かれた精神医療をめざすために、チーム医療の充実を図り、専門医療を確立する。

＊精神障害者の偏見を取り除き、患者の権利・患者の尊厳を守り、患者中心の医療を実践する。

＊障害者と地域との共存を図るために積極的に地域活動への参加を行う。

院長挨拶

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、当院に日頃からのご支援とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

令和最初のお正月を迎えましたが、皆さまはどのような 1 年を過ごされたでしょうか？当院では昨年より“地域移行機能強化病棟”を新たに開設し、主に入院期間が1年以上の患者さんを対象として早期退院へ向けた訓練や支援を行い、退院後も安定した日常生活を送って頂ける様、取り組みを強化して参りました。

話は変わりますが、去年は世界ラグビーワールドカップで日本チームは初のベスト 8 入りを見事に果たし、日本中が喜びと感動に湧き上がりました。今年は東京オリンピックが開催されるということもあり、今スポーツが大変盛り上がっております。私個人としても大変楽しみにしている所ではございますが、現在、佐賀県内では感染性胃腸炎やインフルエンザが大変流行しております。感染予防の為に、人が密集する所へお出かけになられる際はマスクを着用し、また、お帰りになられた際は、うがいや手洗いなど予防の徹底をお願い致します。



早津江病院 院長
松永 高政

それでは、今年も引き続き他医療機関や介護施設の皆さまと連携を取り合い協力して、地域の精神科医療へ貢献すべく全職員一体となり、我々も「ONE TEAM」で取り組んで参ります。今後とも地域の皆さまやご利用の皆さま、そしてご家族の皆さまからの温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆さまのご健勝とご発展を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

樟風会 熱気球クラブより

樟風会では職員のクラブ活動として熱気球クラブが設立されています。部は 1996 年に発足し、今年で 24 年目となります。佐賀平野をフライトエリアに活動し、大会（佐賀インターナショナルバルーンフェスタ、SAGA バルーンチャレンジシリーズなど）への参加や係留飛行（※気球をロープで固定し一定の範囲内で上下飛行すること）を行っています。

樟風会の気球は「エンデバー 3 号」といい、東日本大震災の後に作ったバルーンである為、ボランティア係留等で役に立てればと思い「がんばろう日本！」のロゴを入れています。

今年は佐賀熱気球パイロット協会が毎年開催している熱気球教室で係留飛行（下記の写真参照）をさせて頂き、地元である南川副小学校の 3,4 年生 86 人を乗せて飛行しました。

今年のフライトシーズンは 2 月末までとなりますが、今後もバルーンの楽しさを伝えながら、フライトをしていきたいと思います。見かけられた際は気軽に声を掛けてください。

樟風会熱気球クラブ 西村公利



係留飛行（熱気球教室 佐賀市立柿ヶ丘小）

※TV ニュースでも放映されています。動画もインターネットで検索すれば見ることが出来ます（熱気球教室 佐賀市、など）ので、活動に興味がある方はぜひそちらもご覧ください。

令和元年度 樟風祭

展示作品



会場の様子



津軽三味線の披露

令和元年 10 月 19 日（土）に「樟風祭」を開催いたしました。

今年度はボランティアの方々による催し物として『民謡はがくれ会 浩寿会』様より津軽三味線が披露され、心地よい音色や心躍るようなリズム感に会場が一体感に包まれ、皆さんにも楽しんでいただきました。

また、昨年実施しました非常食の試食コーナーも好評であった為、昨年までとは違う試食を用意し、今年も実施しました。昨今、災害などへの意識が高まっている為、貴重な機会であったと思います。来年以降も引き続き実施出来ればと思います。

患者・職員の作品などの展示、バザーやデイケアでの販売に加え、患者さん・来場いただいた皆様の為に例年お菓子のつかみ取りを行っておりましたが、今年度はおたのしみ袋という形でお菓子やアメニティーの詰め合わせを提供し、開封する楽しみなど、皆様にご好評を頂きました。

樟風祭実行委員長 塘 慎一郎

餅つき



令和元年12月27日（金）に早津江病院の中庭で恒例の餅つきが行われました。

毎年職員・患者さんたちが参加し、一緒にお餅をついて交流を深めているのですが、今年度も多くの方々に参加していただき、たくさんのお餅をつくことができました。

出来たお餅は早津江病院内の飾り餅としたり、その場できなこや大根おろしと一緒に試食したりして、とても楽しい時間を過ごすことができました。

広報・イベント委員会

いのちの電話募金への寄付

令和元年11月29日（金）に社会福祉法人佐賀いのちの電話へ寄付を行いました。

当院 松永啓介理事長より佐賀いのちの電話事務局長 伊藤勝之様へ寄付金44,486 円が渡されました。

寄付金においては10月に行われた樟風祭の収益金および募金にて集まったものです。今後も継続して寄付を続けていけるよう勤めたいと思います。



第15回 早津江病院学会 開催について

早津江病院教育委員会主催による、第15回早津江病院学会を下記の日程にて開催いたします。

テーマは「樟風会が目指す地域移行の将来像」とし、一般演題9題、特別講演1題を予定しております。

第15回早津江病院学会

◆開催日時：令和2年2月15日(土)13:30～16:40

◆会場：佐賀市立南川副公民館

(住所：佐賀市川副町大字鹿江422番地1 TEL：45-8919)

◆主催：早津江病院 教育委員会

◆テーマ：『樟風会が目指す地域移行の将来像』

《一般演題》

9演題

《特別講演》

テーマ「それぞれの生き方に向き合うということ」
～佐賀ACTの取り組みから地域移行・定着を考える～

演者 さが恵比須メンタルくりにつく

精神保健福祉士 福浦 夕起子 氏



第14回早津江病院学会風景